

「加計しか間に合わない」と
知りながら、条件決定

文字通り加計ありき



共産党・宮本^{衆院議員}が追及

安倍晋三首相の友人が理事長の学校法人「加計(かけ)学園」の獣医学部新設が「総理のご意向」とされる問題で、日本共産党の宮本徹議員(比例東京ブロック選出)は7月24日の衆院予算委員会で追及しました(左写真)。

「準備期間が異常に短い。恣意的な設定」などの 意見が寄せられていたのに…

宮本徹議員が追及したのは、今年1月4日の公募条件で示された「平成30年度(2018年度)開設」というあまりに短い準備期間です。加計学園と同様に獣医学部新設を目指していた京都産業大学も、準備期間不足を断念の理由に挙げています。

宮本氏は、内閣府と文科省が1月4日の公募条件提示に先立ち、国民から意見を聞く目的で、昨年11月に実施した意見公募(パブリックコメント)に「準備期間が非常に短期間。特定の案件に絞り込んだ恣意(しい)的な期間設定」などの批判や疑念が多数寄せられていたことを指摘(右表参照)。山本地方創生担当相は「パブコメの概略は聞いている。その中には、そういう話もあったと聞いている」と述べ、疑念や批判を認識していたと認めました。

批判を認識しながら決める。まさに加計ありき

宮本氏は「加計学園しか間に合わない」と知りながら条件を決めたということだ。文字通り加計ありきだ」と厳しく批判しました。

宮本徹議員が紹介したパブコメに寄せられた意見(一部)

●2018年度開設の期限をなぜ切るのか。そもそも実現可能な大学が決まっており、形だけの手続きではないか。

●2018年度の開設に限定されているが、準備期間が非常に短期間となっており、特定の案件に絞り込んだ恣意(しい)的な期間設定と思われる。

●文部科学省との調整期間を考えるとパブリックコメントが発表された時点で教員の確保など周到な準備を完了していないと事実上困難である

許しません!!安倍政権の国政「私物化」

先の都議選では、「森友・加計」疑惑などの国政私物化、「共謀罪」法の強行や9条改憲など憲法破壊の暴走などに、都民の厳しい審判が下りました。今度は国政で審判をくだし、安倍政権をたおし、野党連合政権をつくりましょう。

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2017年7・8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党